

# 1 家庭・地域における子ども読書活動の推進

## (1) 家庭における読書

### 子どもと保護者への取り組みの充実

子どもが生涯にわたる読書習慣を身につけるうえで、家庭における保護者・家庭の役割には大きいものがあります。第1期実施計画においても子ども文庫の活動や図書館でのおはなし会、読書の楽しさを味わう各種の催しや絵本出前講座など、保護者に向けて子どもの読書の楽しさや大切さを伝える取り組みが積み重ねられてきました。こうした中で居宅の親子への情報提供が課題となっています。第2期実施計画では子どもの読書について、保護者への働きかけをさらにきめ細かく継続的にいきます。

	対象				事業名	関係部局・団体	区分	取組の内容
1	乳幼児	小中学生	15才以上	大人	リーフレットなどによる情報提供	市立図書館	継続	図書館に関する情報や絵本のリスト、乳幼児の読書に関するリーフレットなどを産婦人科、小児科医院などに配布することで情報提供を行う。 [152をご参照ください]
						健康支援室	継続	リーフレットなどによる情報提供の機会として、母子健康手帳の交付時、妊婦・父親教室を活用する。
2					PTA連合協議会での子ども読書に関する情報共有	○小・中学校 PTA連合協議会 市立図書館	新規	PTA連合協議会での会議などの場において、子ども読書活動の取組みを報告するなど、情報提供し、広くその活動について周知の機会とする。

### 子どもの本や読書に関する情報提供

家庭における子どもの読書を支援するために、保護者が子どもの読書について、気軽に相談できる場や機会が必要です。同時に、本の紹介や地域で行われている子どもの読書に関する事業の情報を保護者が気軽に入手できることが大切です。そのためにちらしやホームページ、メールマガジンなどの多様な情報メディアを活用して相談窓口となる施設についての情報を届けます。

◆〈全体的な取り組み〉4ページをご参照ください。

	対象				事業名	関係部局・団体	区分	取組の内容
3					図書館のPR	○市立図書館 おはなしボランティアグループ	継続	おはなし会や絵本講座などの機会に、図書館が子育て支援の場、絵本の相談窓口であることを伝える。
4					新一年生へのPR	市立図書館	継続	小学校新一年生を対象に作成した利用案内を小学校を通じて配布し、家庭に向けて図書館のPRを行う。 [138にも掲載しています。]
5					家庭への情報提供	市立図書館	継続	図書館のホームページやメールマガジン、ケーブルテレビなど多様なメディアで本の紹介などを行う。 [106、137にも掲載しています。]

## (2) 地域における市民活動

### 子どもと保護者への取り組みの充実

地域には、子ども文庫、PTA、公民分館、校区福祉委員会や子ども会、子育てサークルなどの団体・グループがあります。そこでは子どもの読書や居場所づくり、子育てサロンなどの活動や事業が行われ、子ども読書活動が広がりつつあります。おはなし会や講座、講演会などを通じて、子どもと保護者に読書の楽しさや大切を伝える取り組みを充実します。

	対象	事業名	関係部局・団体	区分	取組の内容
6		子育てサロン・サークルでの乳幼児向けおはなし会および絵本講座の開催	豊中市社会福祉協議会 おはなしボランティアグループ 市立図書館	継続	校区福祉委員会で実施している子育てサロンおよび子育てサークルで子どもや子どもの読書に関する情報交流なども行う絵本講座や乳幼児向けおはなし会を行う。また子育てサロン開催時に本の貸出しを行う。 子育てサロン38校区実施(22年3月現在) [ 99、127をご参照ください。]
7		「地域子ども教室」	地域教育振興課 市立図書館	継続	学校や図書館などで地域子ども教室を実施し、読み聞かせや工作などを通して読書や図書館利用を進める。
8		講演会の開催	地域教育振興課 市立図書館	継続	PTAと連携し、作家や児童文学研究者・司書などを学校や幼稚園に招いて保護者や子どもを対象に講演会を開き、本や読書への興味を深める。

### 子どもの本や読書に関する情報提供

図書館や学校、幼稚園などで読み聞かせを行うボランティアが増えています。また子育てサロンやサークルなどでも、第1期実施計画の取り組みをきっかけとして読み聞かせを取り入れるところが多くなっています。これからの活動を支援するために、子どもの読書に関する相談窓口や情報提供の場と機会を広げます。

◆〈全体的な取り組み〉(4ページ)をご参照ください。

	対象	事業名	関係部局・団体	区分	取組の内容
9		ボランティアセンター登録者への情報提供	○豊中市社会福祉協議会 市立図書館	継続	ボランティアセンター登録者に読書活動ボランティアに関する情報の提供を行う。

### 読書環境の整備

子どもがあらゆる機会と場所において本に親しめるよう、環境を整備することが必要です。地域のなかで連携・協力した活動を推進するとともに、市立図書館の団体貸出サービスなどを利用して、子どもが身近に本に親しめる環境づくりを進めます。

	対象	事業名	関係部局・団体	区分	取組の内容
10		絵本等の貸出	○豊中市社会福祉協議会 市立図書館	継続	子育てサロン・子育てサークルの開催時に本の貸出しができる環境を整える。

## 子ども読書活動におけるネットワークづくりと情報交流の推進

市民活動団体がネットワークづくりを行い、図書館との連携を強めることによって、市民と行政の協働による子ども読書活動を継続的に展開することが必要です。「子どもと本をつなぐ地域交流会」を開催し、ネットワークづくりを進めるとともに学習や情報交流の機会とし、市民による子ども読書活動を支援します。

◆〈全体的な取り組み〉(4ページ)をご参照ください。

	対象	事業名	関係部局・団体	区分	取組の内容
11		グループ支援活動	中央公民館 市立図書館	継続	公民館と図書館において活動しているボランティアグループやサークルが、相互に連携した取り組みができるよう交流を深める事業を行う。

## 子ども読書活動ボランティアや市民活動団体への支援の充実

第1期実施計画の取り組みを経て、子ども読書活動に関わるボランティアや市民活動団体の活動が広がり、連携もすすみました。引き続き子どもと子どもの本に関する情報、資料、場所や学習機会などを提供し活動を支援します。

	対象	事業名	関係部局・団体	区分	取組の内容
12		子ども文庫活動への支援と連携・協力	子ども文庫 市立図書館	継続	長年にわたり、地域の中で子どもと本をつなぐ地道な活動を行なっている子ども文庫に対して、市立図書館が団体貸出サービス、子どもの本に関する情報や文庫活動に役立つ情報の提供などを行い、活動を支援する。また子育て支援事業の中で連携・協力(協働)する機会をつくり、子ども文庫の活動を広く市民に知ってもらえるようPRするとともに、活動場所の確保など、個々の文庫の活動を支援する。 [148をご参照ください。]
13		豊中子ども文庫連絡会への支援と連携・協力	子ども文庫 豊中子ども文庫連絡会(豊子連) 市立図書館	継続	豊中子ども文庫連絡会は、社会教育育成団体として補助金の交付を受けるとともに、図書館と共催して、「子どもと本のまつり」「子どもと本のつどい」を行う。また、豊子連講座などの独自の取り組みを通して、子どもと子どものそばにいる大人に読書の喜びを伝える活動を行う。 [129をご参照ください。]
14		おはなしボランティア活動への支援	市立図書館	継続	資料や場所、活動に必要な情報を提供し、講座の開催など学習の機会を保障する。 [153にも掲載しています。]
15		地域ボランティア活動推進事業	地域教育振興課 市立図書館 おはなしボランティアグループ	継続	中学生・高校生による読み聞かせボランティア活動への参加を積極的に進め、保育所・幼稚園・小学校(放課後こどもクラブ)をはじめ市や社会福祉協議会等が主催する催しで活動の場を広げていく。 [68、88、154をご参照ください。]
16		市民活動への支援	市立図書館	継続	子どものそばにいる大人に、子どもの読書の楽しさや大切さを伝える市民の活動を支援する。

## 子どもに関わる大人への啓発と研修

子ども読書活動に関わるボランティアの活動は、図書館だけではなく、子育てサロンやサークル、多様な施設で子どもが本に親しむ機会を広げています。子どもの読書活動をより充実したものにするために、ボランティアが子どもの読書の意義や大切さについて理解と関心を深める取り組みを行います。

	対象	事業名	関係部局・団体	区分	取組の内容
17		「わいわい子育てミーティング」	豊中市社会福祉協議会 市立図書館	継続	年に1回子育てサークルの世話人が集まる機会となっている「わいわい子育てミーティング」の際に、子育てサークルで取り組めるプログラムの紹介や読み聞かせについての学習の機会を持つ。
18		小ネット研修・交流会(子育てサロンボランティアの研修・交流会)	豊中市社会福祉協議会 市立図書館	継続	子育てサロンが乳幼児と保護者にとって本とふれあう場になるよう、校区福祉ボランティアが子どもと本についての学習の機会を持つ。
19		青少年指導者に向けての取り組み	○青少年課 市立図書館	継続	指導者が集まる機会に、図書館の紹介をすることで、青少年活動での本の活用を広める。



「子どもと本のつどい」 西澤真樹子さんによるワークショップ